生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	日本ステントグラフト実施基準管理委員会レジストリーデータを用いた弓部大動脈瘤に対する In situ fenestration 法(逆行性開窓法)を用いたステントグラフト治療成績の解析		
1.研究の目的と方法	弓部大動脈瘤に対する頚部分枝再建を要するステントグラフト術の歴史は未だ浅く、治療効果については十分に明らかにされておりません。本研究はこの治療を施行された患者さんの治療成績・効果を評価し、この治療法の安全性の確率と質の向上を図ることを目的としています。		
2.研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	弓部大動脈瘤の患者さんで、東京慈恵会医科大学附属病院で 20016 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に In situ fenestration 法(逆行性開窓法)を用いて弓部大動脈瘤の治療を受けた方・またはこれから受ける方のうち、日本ステントグラフト実施基準管理委員会のステントグラフトの追跡調査研究(本学倫理委員会承認番号：32-249)に参加されている方・または参加される方		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 過去の先行研究（本学倫理委員会承認番号：32-249）で取得されたデータを二次利用します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学　外科学講座　血管外科
		氏名	大木 隆生
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学　外科学講座　馬場　健	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2020 年 12 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　外科学講座　血管外科 研究責任者：大木 隆生(おおき　たかお) 電話番号：03-3433-1111　（内線：3401　） 対応時間：平日 09：00　～　17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。